

ねりま小中一貫教育レポート

〇●〇 第 2 号 〇●〇

平成 24 年 7 月

発行：教育企画課・教育指導課

練馬区内の小・中学校では、さまざまな小中一貫教育の取組が行われています。「ねりま小中一貫教育レポート」では、小中一貫教育の取組を随時報告します。

第2号では、小中一貫・連携教育研究グループの一つである「上石神井小学校」と「上石神井中学校」の取組を紹介します。

【研究主題】 ふれあい、学びあい、伝え合う児童・生徒の育成

◆伝統のリトルティーチャー

上石神井小学校・上石神井中学校では、平成 17～19 年度に小中連携の教育課題研究指定校となって以来、中学生が「リトルティーチャー」となって小学生を教える取組を継続的に実施しています。毎年7月ごろに中学2年生全員、2月ごろに中学1年生全員が「リトルティーチャー」として小学校を訪問しています。



当日実施予定の教科が小学校から示されると、中学では、生徒たちから希望を募って各学年に振り分けます。1か月半前には、両校の先生方が集まって、一緒に指導案を検討し【写真⑤】、中学生は総合的な学習の時間を使って、事前に4時間ほど教える準備をして当日に臨みます。

7月4日（木）5時限目、中学2年生全員（在籍 139 名）が約7名ずつのグループに分かれて、小学校1年～6年の全クラスにリトルティーチャーとして入りました。

当日の科目は、一年：生活科（すごろくや絵しりとり）、二年：図工（動くおもちゃ）、三年：音楽（リコーダー）、四年：総合的な学習の時間（国際理解教育・英語で数を言う）、五年：家庭科（二つ穴のボタン付け【写真⑥】）、六年：体育（組み体操）でした。





6年生は、この日に練習した倒立、肩車などを9月の運動会で披露することになっており、「是非見に来てください」「頑張っね」と声をかけあう場面もありました【写真⑤】。

終了後の合同協議会では、「英語が苦手な子も、事前に一生懸命勉強して主体的に教えていた」「今までで一番

楽しい図工だったと子供たちが言っていた」などの声が聞かれました。

年ごとに工夫を重ねて進化しているリトルティーチャーの取組が、小学生にとっても中学生にとっても貴重な体験となっています。

◆三教科で乗り入れ授業 【体育と外国語は中⇒小 数学は小⇒中】

上石神井小学校・上石神井中学校では、体育と外国語活動で週1回、中学校の先生が小学校の先生と一緒に小学6年生を教える乗り入れ授業が行われています【写真⑥】。また、小学校の先生が月に3回程度、中学校の数学の少人数授業に参加しています。体育では、乗り入れ授業試行実施のために、講師の先生



が中学校に加配されていますが、外国語活動と数学については、学校独自の努力により、乗り入れ授業が実現しました。

<中学数学の授業に参加している小学校の先生のお話>

今年は担任をもっていないので、時間のあいているときに中学の少人数授業に参加しています。中学の先生の教え方を見ながら、つまずいている子がいたら声をかけています。中学校の授業のスピードや教え方を見ることは、自分にとって勉強になりますし、小学校の授業に生かすこともできます。

小中連携は、行けるときに行ける先生が気軽にお互いの授業を見に行ったり、分からない点を聞きあったりできるのが理想的だと思います。リトルティーチャーで子供同士と先生同士の交流はかなりできているので、今後は、中学の先生と小学生、小学校の先生と中学生、というクロス交流が進むと良いと思います。